



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場会社名 ワタミ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7522 URL <http://www.watami.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑原 豊

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画グループ長 (氏名) 小田 剛志

TEL 03-5737-2703

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	66,276	11.4	3,288	48.0	2,849	40.7	1,100	204.4
23年3月期第2四半期	59,487	5.3	2,220	7.8	2,023	△4.8	361	△63.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,057百万円 (229.8%) 23年3月期第2四半期 320百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	27.48	27.41
23年3月期第2四半期	8.96	8.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	100,007	27,384	27.1	678.51
23年3月期	93,534	27,333	28.9	670.74

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 27,104百万円 23年3月期 27,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00			
24年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	8.9	7,600	4.8	6,720	0.1	3,300	16.6	81.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	41,686,780 株	23年3月期	41,686,780 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,740,140 株	23年3月期	1,362,446 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	40,055,775 株	23年3月期2Q	40,312,077 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～9月30日）の日本経済を取り巻く環境は、東日本大震災からの復興とともに企業の生産活動は回復の兆しを見せる一方で、原子力発電所の事故や欧州の金融不安などの影響から、個人消費につきましても依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下、「地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになろう」というグループスローガンのもと、各事業分野においてお客様のありがとうを集める活動を展開してまいりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①国内外食事業

「わたみんな」を中心に11店舗の新規出店、1店舗の業態転換、また「和民」及び「T.G.I. Friday's」44店舗の改装を実施いたしました。当第2四半期連結累計期間における既存店売上高前年比は92.0%であるものの、直近9月における既存店売上高前年比は94.1%となるなど売上高は回復基調となっております。そのため当初、契約済の物件を除き見送り予定であった新規設備投資を再開し、当初計画を上回る新規出店、「和民」及び「T.G.I. Friday's」の改装を実施することができました。

国内外食事業における売上高は37,156百万円（前年同期比94.4%）、セグメント利益は1,060百万円（同比72.4%）となっております。

②介護事業

7棟の新規施設を開設し、当第2四半期連結会計期間末における施設数は68棟となっております。新規のご入居者様数においては、全施設合計で892名、既存施設の入居率につきましても当第2四半期連結会計期間末で92.4%と高い水準で順調に推移しております。

介護事業における売上高は13,623百万円（前年同期比132.9%）、セグメント利益は2,441百万円（同比148.9%）となっております。

③高齢者向け宅配事業

85ヶ所の新規の営業所を開設し、当第2四半期連結会計年度末の営業拠点数は232ヶ所となっており、商品をお届けできるエリアを拡大しております。新規のお客様の獲得に努めた結果、8月の最終週における調理済み弁当の平日1日あたり配食数は160千食と順調に拡大しております。

高齢者向け宅配事業における売上高は11,279百万円（前年同期比166.8%）、セグメント利益は963百万円（同比259.2%）となっております。

④その他事業（海外外食事業、農業、環境改善・メンテナンス事業等）

海外外食事業におきましては、7店舗の新規出店、1店舗の撤退を実施し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は47店舗となっております。海外各地の既存店売上高は好調な経済状況を背景に前年を上回る水準が続いております。

農業におきましては、農作物の生産性ならびに商品の付加価値向上による農業の収益事業化への取り組みは天候条件にも恵まれ順調に推移しております。

環境改善・メンテナンス事業におきましては、環境配慮型のサービス展開による外部営業活動に注力しております。

これら、その他事業における売上高は4,216百万円（前年同期比134.3%）、セグメント損失は53百万円（前年同期は202百万円の損失）となっております。

当第2四半期連結累計期間における企業集団の成果は、上記のような施策の結果、売上高66,276百万円（前年同期比111.4%）、営業利益3,288百万円（同比148.0%）、四半期純利益は1,100百万円（同比304.4%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比6,472百万円増加して100,007百万円となりました。流動資産は同261百万円増加の15,814百万円、固定資産は同6,211百万円増加の84,192百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は介護施設の新設・外食店舗設備の購入に伴うリース資産の計上等により前期末比6,028百万円増加の49,394百万円となりました。無形固定資産は、のれんの償却等により前期末比346百万円減少の8,844百万円となりました。投資その他の資産は、介護施設・外食店舗の新規開設に伴う差入保証金の増加等により前期末比529百万円増加の25,953百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比6,421百万円増加の72,622百万円となりました。流動負債は短期借入金の減少、リース債務の増加等により同1,070百万円減少の25,863百万円、固定負債はリース債務の増加、長期借入金の増加等により同7,491百万円増加の46,759百万円となっています。このうち有利子負債（1年内償還予定の社債、短期借入金、社債、長期借入金及びリース債務の合計額）は、前期末比3,421百万円増加の45,150百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、利益剰余金の増加、自己株式の取得等により前期末比51百万円増加して、27,384百万円となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計期間末に比べ、201百万円減少し、7,945百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは7,578百万円の収入（前年同期は3,628百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は税金等調整前四半期純利益が2,494百万円、減価償却費が2,891百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは3,704百万円の支出（前年同期は5,003百万円の支出）となりました。主な内訳は有形固定資産の取得による支出が2,425百万円、差入保証金の差入による支出が1,426百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは4,072百万円の支出（前年同期は640百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は短期借入れによる収入が8,089百万円、長期借入れによる収入が4,583百万円、支出の主な内訳は短期借入金の返済による支出が11,500百万円、長期借入金の返済による支出が3,144百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月10日の「平成23年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,146	7,945
売掛金	—	3,173
受取手形及び売掛金	2,909	—
商品及び製品	298	282
仕掛品	227	239
原材料及び貯蔵品	330	326
その他	3,660	3,898
貸倒引当金	△18	△50
流動資産合計	15,553	15,814
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,721	18,862
リース資産	22,784	27,921
その他	2,859	2,610
有形固定資産合計	43,365	49,394
無形固定資産		
のれん	8,564	8,238
その他	626	605
無形固定資産合計	9,190	8,844
投資その他の資産		
差入保証金	20,565	21,219
その他	4,979	4,891
貸倒引当金	△119	△157
投資その他の資産合計	25,424	25,953
固定資産合計	77,981	84,192
資産合計	93,534	100,007

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,892	3,215
短期借入金	9,715	6,435
リース債務	1,742	2,207
未払法人税等	1,568	1,487
賞与引当金	331	829
販売促進引当金	122	113
クーリングオフ引当金	39	40
その他	10,521	11,534
流動負債合計	26,933	25,863
固定負債		
社債	240	220
長期借入金	8,439	9,747
リース債務	21,550	26,501
長期預り入居金	5,880	7,056
資産除去債務	1,443	1,530
その他	1,712	1,703
固定負債合計	39,267	46,759
負債合計	66,201	72,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,410	4,410
資本剰余金	5,002	5,002
利益剰余金	20,256	20,931
自己株式	△2,421	△3,015
株主資本合計	27,247	27,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	0
為替換算調整勘定	△202	△225
その他の包括利益累計額合計	△200	△224
新株予約権	274	287
少数株主持分	11	△7
純資産合計	27,333	27,384
負債純資産合計	93,534	100,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	59,487	66,276
売上原価	24,021	27,762
売上総利益	35,466	38,514
販売費及び一般管理費	33,245	35,225
営業利益	2,220	3,288
営業外収益		
受取利息	48	56
設備賃貸収入	315	318
助成金収入	128	190
雑収入	254	304
営業外収益合計	747	869
営業外費用		
支払利息	515	796
設備賃貸費用	366	374
雑損失	61	137
営業外費用合計	944	1,308
経常利益	2,023	2,849
特別損失		
固定資産除却損	73	29
リース契約解約損	0	5
賃貸借契約解約損	4	33
減損損失	132	286
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	784	—
特別損失合計	995	354
税金等調整前四半期純利益	1,028	2,494
法人税、住民税及び事業税	1,034	1,543
法人税等調整額	△365	△134
法人税等合計	669	1,408
少数株主損益調整前四半期純利益	358	1,085
少数株主損失(△)	△3	△15
四半期純利益	361	1,100

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	358	1,085
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△2	△1
為替換算調整勘定	△35	△26
その他の包括利益合計	△37	△28
四半期包括利益	320	1,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	324	1,076
少数株主に係る四半期包括利益	△4	△19

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,028	2,494
減価償却費	2,329	2,891
減損損失	132	286
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	784	—
のれん償却額	342	342
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17	498
販売促進引当金の増減額(△は減少)	10	△8
受取利息及び受取配当金	△49	△56
支払利息	515	796
固定資産除却損	73	29
リース契約解約損	0	5
賃貸借契約解約損	4	33
売上債権の増減額(△は増加)	△273	△265
たな卸資産の増減額(△は増加)	22	5
未収入金の増減額(△は増加)	17	291
仕入債務の増減額(△は減少)	△8	321
未払金の増減額(△は減少)	73	236
未払費用の増減額(△は減少)	239	552
未払消費税の増減額(△は減少)	△9	62
入居保証金の増減額(△は減少)	647	1,453
その他	199	74
小計	6,063	10,045
利息及び配当金の受取額	4	3
利息の支払額	△512	△794
法人税等の支払額	△1,927	△1,676
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,628	7,578
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,371	△2,425
差入保証金の差入による支出	△1,454	△1,426
差入保証金の回収による収入	209	346
貸付けによる支出	△5	△40
貸付金の回収による収入	57	6
定期預金の預入による支出	△249	—
その他	△189	△164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,003	△3,704

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,817	8,089
短期借入金の返済による支出	△6,077	△11,500
長期借入れによる収入	8,338	4,583
長期借入金の返済による支出	△8,657	△3,144
社債の償還による支出	△20	△20
自己株式の取得による支出	△1	△633
自己株式の処分による収入	17	17
配当金の支払額	△402	△405
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△654	△1,037
少数株主からの株式取得による支出	—	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△640	△4,072
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,039	△201
現金及び現金同等物の期首残高	8,140	8,146
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,100	7,945

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内 外食	介護	高齢者向け 宅配	計				
売上高								
外部顧客 への売上高	39,345	10,244	6,759	56,349	3,138	59,487	—	59,487
セグメン ト間の内部 売上高又 は振替高	577	—	50	627	1,411	2,038	△2,038	—
計	39,922	10,244	6,809	56,976	4,549	61,526	△2,038	59,487
セグメント 利益又は損 失(△)	1,464	1,639	371	3,475	△202	3,272	△1,051	2,220

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外外食事業、農業、環境改善・メンテナンス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,051百万円の内容は、のれんの償却額△315百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△746百万円になります。全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内外食事業」セグメントにおいて、店舗資産(北新地御堂筋店他12店舗)の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、第2四半期連結累計期間においては132百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内 外食	介護	高齢者向け 宅配	計				
売上高								
外部顧客 への売上高	37,156	13,623	11,279	62,059	4,216	66,276	—	66,276
セグメン ト間の内部 売上高又 は振替高	862	—	—	862	1,517	2,379	△2,379	—
計	38,018	13,623	11,279	62,922	5,734	68,656	△2,379	66,276
セグメント 利益又は損 失(△)	1,060	2,441	963	4,466	△53	4,412	△1,124	3,288

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外外食事業、農業、環境改善・メンテナンス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,124百万円の主な内容は、のれんの償却額△315百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△777百万円になります。全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内外食事業」セグメントにおいて、店舗資産(44店舗の改装等による)の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては286百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。